

～～第8642回～～

大室山（富士）

～H31. 3. 9～

前日の予報では、日中17度4月下旬の暖かさとのことだった。富士周辺の予想はつかず、防寒具、軽アイゼンの装備を持ち家を出る。安倍川駅前6:30、3台の車で出発。東名静岡インターから清水JCを過ぎると、明日3月10日中部横断自動車道一部開通の案内が見えた。新富士インターから、国道139号を北上し、朝霧道の駅で休憩をとった。途中、見晴らしの良い駐車場に着き、ストレッチを行う。ここは景色が良く、本栖湖が眼下に見え、遠方に南アルプス連峰、遠く塩見岳まではっきり見えた。富士風穴ゲート前(1101m)に移動して駐車する。ここから青木ヶ原樹海の中に入っていく。足元の溶岩のざらついた石を歩く。木々の間から、鳥の鳴き声、空気はひんやりして歩き易い。しばらく行くと、天然記念物富士風穴の石標、下りていくと、ツララが下がっている入口は狭い。這いずって入れば中は広いらしい。中に入るには、許可が要るらしく、ヘルメット、合羽などを着用するとのことでした。さらに、大室洞穴を探しながら歩き、ようやく発見。雪でふさがれた入口、中は埋没しているとのことだった。ここより落葉の上に雪が薄く積もっている中を、ザッザッと音をたてて歩く。途中5～6m長さの倒木の皮が、すっかり鹿に食べられ、つるつるになっている様子などを見る。そこそこに鹿の糞も多量だった。休憩後、なだらかな斜面を過ぎ、急な登りを歩く。進む方向右手には、木々の間から、南アルプス連峰、左手に富士山が見え、やがて雪も一面になった所で、大室山のピークに達する。1468m温度計は3度を示していた。やがて三角点に着く。雪の少ない今年だったが、ここ2～3日で、真白く雪をかぶった眼前の富士山は最高の景色だった。風をよけた南斜面で、昼食休憩。下りはアイゼンをつける事もなく、雪はあったが、慎重に歩く。大室山の噴火口跡の説明をうける。やがて落葉(ほう葉など多種)がふわふわとした感触で歩き易くなったカラマツ林の中を進む。途中から苔むした岩を見ながら、樹林帯の中をしばらく歩いて、富士風穴ゲート前駐車場に着く。帰路は朝霧道の駅で休憩をとり解散した。私達の乗った一台は、富士宮の富士山世界遺産センターに寄る。今日歩いてきたところを正に撮ったかのような映像が流れていた。一日天候に恵まれ、富士山その周辺を満喫して、新富士インターより帰路についた。

参加者：17名（静岡北1、静岡東2、静岡西12、焼津1、藤枝1）

天気：晴

地図：鳴沢

コースタイム：安倍川駅前 630＝富士風穴ゲート前 815…富士風穴 835…大室洞穴 915…大室山頂上 1030…大室山三角点 1044…昼食 1045-1115…富士風穴ゲート前 1300＝静岡県富士山世界遺産センター1420-1530＝安倍川駅前 1630

記録：静岡西支部 N. W

大室山からの富士山



天然記念物 富士風穴

